

地盤品質判定士会中部支部 第5回 幹事会 議事録

- A. 日 時 2022年1月20日(木) 13:00～15:00
- B. 場 所 Zoom
- C. 出席者 利藤、桃井、谷口、向井、千野、荒井、山名、小嶋、長沼、品川、斉藤、金森
堀中、居川、 (敬称略、順不同)

D. 配布資料

- ・報告-1 地盤品質判定士会中部支部第4回幹事会議事録(案)
- ・報告-2 地盤品質判定士会2021年度第5回幹事会議事録
- ・報告-3 令和3年度12月～1月 中部支部 相談対応リスト
- ・審議事項-1 地盤品質判定士会中部支部設立特別講演会アンケート結果
- ・審議事項-2 R4 総会開催について
- ・審議事項-3-1 総務 G 報告・R4 活動計画
- ・審議事項-3-2 調査 G 報告・R4 活動計画
- ・審議事項-3-3 行事 G 報告・R4 活動計画
- ・審議事項-3-4 広報 G 報告・R4 活動計画

E. 報告事項

1. 前回議事録の確認(報告-1)
 - ・ 前回幹事会(11/18)の議事録を確認した。補足事項として広報 G より「判定士会のパンフレットは、本部のパンフレットに中部支部と追記して使用してもよい」と本部より回答があったことが報告された。
2. 本部幹事会報告(報告-2)
 - ① 各委員会より
 - 1) 技術委員会
1/29 開催の地盤品質セミナーについて、1/11 現在の参加申し込みが 52 名(計画 100 名)と少ない。申し込んでほしい
 - 2) 広報委員会
本部 HP を作成中。その中で支部 HP にリンクして飛ぶ形式とする。
 - 3) 総務企画委員会
ヘルメット・ビブスの売れ行きが芳しくない(15 個/50 個)。年度内に売り切りたいので購入してほしい。

② 各支部・各部より

関西支部、神奈川支部、中部支部は審議事項なし。宅地防災部から小規模建築物基礎設計指針改定小委員会との宅地の地盤災害リスクとその対応に関する意見交換会の依頼文の内容について審議、承認された旨報告があった（開催は3月にハイブリッドの予定）。

③ 各部会より

熊本地震対策部会、北海道胆振東部地震対応部会、中国支部設立準備部会からは審議事項なし。東北支部は4/1設立で計画しており、設立趣意書等の審議があり承認された。

3. 令和3年度12月～1月の相談対応について（報告-3）

- ・ 4件の問い合わせあり。①浜松市案件は品川幹事が対応、②日進市案件は本部対応、③東海市案件（名城大藤井先生経由）は有償相談であり、弁護士を立てて係争中であるため断った。④名古屋市案件は利藤支部長が対応した。①②は本部あて、④は中部支部あての相談であった。

F. 審議事項

1. 特別講演会 アンケート結果（行事 G）

- ・ 18人から回答があった。
- ・ 講演会全体の感想として「まずまず満足」が最も多く、「大変満足」を含め90%以上の方に満足していただいた。
- ・ Googleのアンケートは使いやすくてよかった。
- ・ 参加費（会員9000円、非会員10000円）が高いという意見が多かった。

2. R4 総会開催について（総務 G）

① 日時及び会場

- ・ 令和4年4月15日（金）15:30～17:00を予定する。
- ・ 会場は名大減災館1Fを予定するが、コロナの関係で使えるかどうか現時点では不確定。ウインクあいちが費用が高く3ヶ月前の予約が必要なので難しい。
- ・ 対面・ZOOM併用とするが、コロナの状況によってはZOOMだけになる可能性もある。
- ・ 可能であれば懇親会を行いたい。

② 議案

1) 令和3年度事業報告（案）

- ・ 支部設立総会（総務 G）
- ・ 設立特別講演会（行事 G）
- ・ 宅地相談実績（桃井副支部長）
- ・ 会計報告→会計は本部処理のため、支部総会での報告は行わないこととする。このため支部規約第10条第2項については修正する。

2) 中部支部規約の改定

- ・ 上記の条文削除を含め総務 G で原案を作成する。

3) 役員の選出（案）

- ・現メンバー幹事を追記する（4名→13名）。

4) 令和4年度事業計画

- ・各グループの計画を取りまとめる

③ 話題提供

- ・令和4年度は講演会は行わず、幹事による事例紹介とする。質疑時間込で20分/人とし、3名の発表とする（利藤、千野、居川を予定）。発表タイトルを1月末までに総務G長沼幹事に連絡すること。

3. 報告・R4活動計画

1) 総務G

- ・R4総会・支部規約改定については上述の通り。
- ・令和4年度役員選出について
 - 有償対応ができる幹事を3人くらい増やしたい（現状は倉橋会員1人）。会員名簿で対象者を確認して、総務Gと桃井副支部長で相談し募集をかける（昨年は3/1に募集を開始している）。また、利藤支部長が3月末で名大から離れることから支部長を交代する（3月に審議する）。桃井副支部長にはあと1年継続してもらう。

2) 調査G

- ・住民や自治体等の対応
 - 調査Gが一旦受けて、対応者へ振り分けるようにする。1人で対応すると片寄るので情報を共有する。
- ・中部支部HPからの相談は誰に連絡が行っているのか。
 - 品川幹事と荒井幹事で誰に連絡を転送するかを相談し、ワイシステムサポートに対応を依頼してほしい。

3) 行事G

- ・市民向けの活動として愛知防災フェスタに出展したい。
 - 調査Gと内容を協議し出展することとする。
- ・R4年度は収益事業として講演会を1回は開催する。

4) 広報G

- ・HPに掲載するQ&Aの案を作成した
 - 質問者の質問意欲を促すような内容としたい。指摘・提案があれば2/4（金）までに荒井幹事あてに連絡すること。その後HPに載せることとする。
- ・中部ライフガードテック2022が秋に予定されているが、こちらは企業のPRが主体で参加費用が高額なのがネック。
 - 上述の愛知防災フェスタへの出展をメインに考えることとする。

G. 次回幹事会の予定

- 2022年3月15日（火）15:00～17:00
 - 場所：名古屋大学減災館 302+ZOOM
- 当日、減災館の見学会ができそうであれば利藤支部長から連絡していただく。

以 上